

北方町文化財報告書第24集

打扇上ノ原遺跡

電波基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2005年1月



宮崎県東臼杵郡北方町教育委員会

序

北方町教育委員会では、農業基盤整備事業や、道路改良工事等の諸開発事業によって影響を受ける埋蔵文化財について、事前に記録保存のための発掘調査を行い、その保護に努めています。

本書は、平成16年度に打扇上ノ原における電波基地局建設に伴い実施した発掘調査の報告書であります。

発掘調査の結果、旧石器時代から縄文時代にかけての石器が出土しました。これらの石器は、打扇地区の歴史を知る上で重要なものです。

本報告が、社会教育・学校教育等で広く活用され、地域の文化財に対する理解と認識を深めるための資料となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、事業の推進にあたってご協力をいただきました株式会社エヌ・ティ・ティドコモ九州、調査にあたりご指導・ご助言をいただきました宮崎県教育委員会文化課をはじめ、発掘調査・整理作業に携わっていただきました方々、並びに地元打扇地区の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

平成17年1月

北方町教育委員会

教育長 中 利幸

例　　言

1. 本書は、北方町教育委員会がエヌ・ティ・ティドコモ九州より委託を受けて実施した埋蔵文化財調査の報告書である。
2. 調査は、北方町教育委員会が主体となり、同文化財係長小野信彦が担当した。
3. 調査の組織
　調査の組織は、以下の通りである。

調査主体	北方町教育委員会	教育長	中利幸
調査総括		社会教育課長	甲斐淳一
事務担当		社会教育課長補佐	甲斐克則
調査担当		文化財係長	小野信彦
調査指導	宮崎県文化課		
4. 本書の編集・執筆は、小野が行った。
5. 本書で使用した写真・図面については北方町教育委員会で保管している。

目　　次

I	はじめ	1
1.	位置と歴史的環境	1
2.	調査に至る経緯	1
II	調査の内容	4
1.	調査の概要	4
2.	基本層序	4
3.	遺構・遺物	6
III	まとめ	8
	報告書抄録	10

I . はじめに

1. 位置と歴史的環境

打扇上ノ原遺跡が所在する北方町は、東九州有数の工業都市として知られている延岡市に隣接しており、町の南部を九州山地に源を発する五ヶ瀬川が流れる。町域面積のほぼ89%を、山林が占める農林業主体の町である。

町内に所在する主な遺跡として、旧石器時代では、AT層下位より石核等が出土した矢野原遺跡や半船底型細石核と隆帶上に爪形文を施した土器が伴って出土した岩土原遺跡がある。今回調査した打扇上ノ原遺跡の北側の台地上で、三稜尖頭器が出土している。

縄文時代早期では打扇遺跡、蔵田遺跡等で押型文土器・集石遺構が、前期では笠下原遺跡で轟B式土器・曾畠土器等が、中期では笠下遺跡、笠下原遺跡で船元式土器が、後期では昔原洞穴、椎畠多木遺跡で籠ヶ崎式土器等が、晩期では川水流遺跡、南久保山小堀町遺跡等で黒色磨研土器が出土している。

弥生時代では昭和28年に北方町から板付II式土器と思われる土器片が採集されて、宮崎大学に保管されている。後期初頭になると表器品であるが、瀬戸内系土器の移入が見られる。終末期から古墳時代初頭にかけては笠下遺跡、上崎遺跡、藏田遺跡等で竪穴住居跡が検出されている。遺物には、甕・壺・高杯・ミニュチュア土器・石庖丁等がある。打扇上ノ原遺跡周辺でも、圃場整備事業に伴う発掘調査で当該期の竪穴住居跡が多数検出されている。

古墳時代では後期の箱式石棺が矢野原・駄小屋・後曾木等で発見されている。曾木地区には、昭和12年に県指定史跡となった『北方村古墳』がある。

古代では、奈良・平安期の遺物（須恵器片）が打扇遺跡や早日渡遺跡、南久保山小堀町遺跡等で出土しているが、量的には多くない。

中世になると、町内各地には六地蔵や五輪塔等が散見される。中世山城跡として藤田城、仲畠城が知られ、塙等の遺構が良好な状態で残る。笠下遺跡、速日峰地区遺跡等では祭祀遺構が検出され、備前焼のすり鉢や明鏡等が出土している。上中尾では、洪武通宝と和鏡（うち一面は漢式鏡の鉢型を利用）が出土している。鎌倉時代後期から南北朝期のものと考えられ、山岳信仰との関係が推察される。

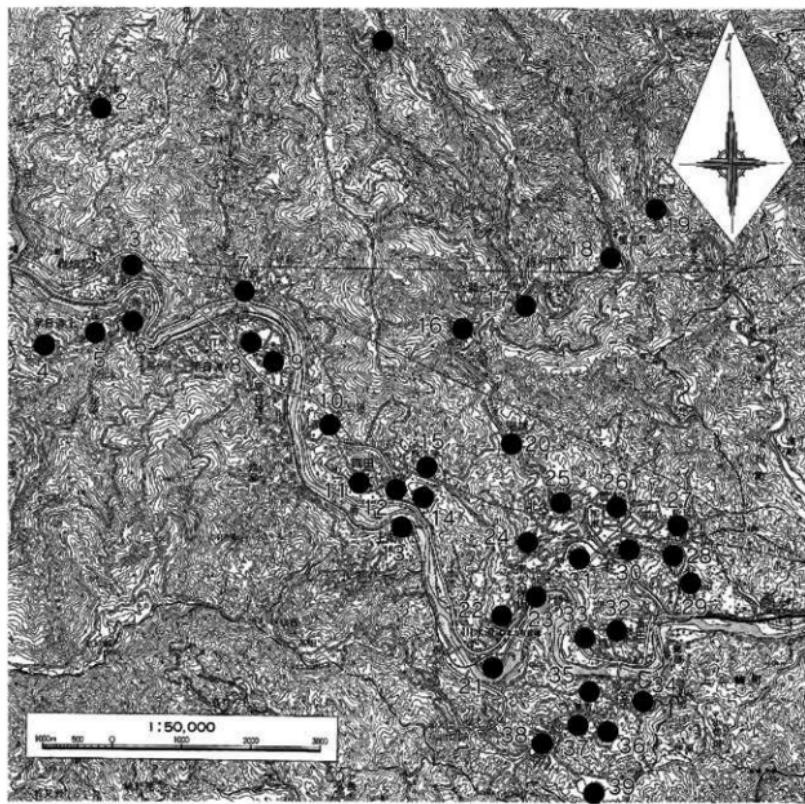
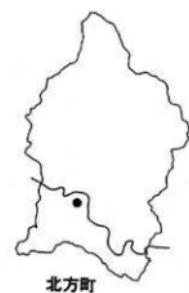
近世は延岡藩領となり、木炭生産や鉱山開発が盛んに行われ明治新政府へと引き継がれた。明治以降、本町の経済と文化を牽引してきた横峰鉱山が、昭和42年に閉山してからは、渓谷等の自然景観を生かしたロッククライミングやキャンプ、グラススキー場などの観光資源に力を入れている。

2. 調査に至る経緯

北方町に打扇地区において、NTTドコモの携帯電話基地局建設が計画され、平成15年12月4日付けで教育委員会に文化財所在の有無についての照会があった。

打扇地区では、平成2年度より実施された県営圃場整備事業に伴う発掘調査事業が行われ、旧石器時代から近世に至る良好な遺構が確認されている。今回、携帯電話基地局建設の申請があつた場所の近くでも、弥生時代終末期から古墳時代初頭にかけての竪穴住居跡が検出されており、遺構の存在が予想された。そのため、他地域で行っていた発掘調査が一段落した平成16年3月1日に試掘調査を実施した。

調査の結果、旧石器時代及び縄文時代の遺物や時期不明の土坑が検出された。教育委員会では、NTTドコモ九州と遺跡保護についての協議を行い、工事で影響を受ける部分については、平成16年度に北方町教育委員会が主体となって発掘調査を実施し、記録を残すことになった。



1. 北方町主要遺跡位置図

番号	名 称	所在地	種 別	時 代	備 考
1	上中尾遺跡	西上中尾	散布地	中世	祭祀遺跡
2	美々地遺跡	未美々地	散布地	縄文～中世	中世山城
3	椎畠遺跡	未椎畠	散布地	縄文～中世	
4	荒平遺跡	已荒平	散布地	縄文～中世	
5	久保遺跡	已久保	散布地	縄文～中世	
6	城遺跡	已城	中世山城	中世	中世山城
7	八峠遺跡	已八峠	散布地	弥生～中世	
8	打扇上ノ原遺跡	已打扇	集落跡	旧石器～近世	延岡藩閥所跡
9	早日渡遺跡	已早下	集落跡	旧石器～近世	
10	矢野原遺跡	辰矢野原	集落跡	旧石器～近世	
11	蔵田遺跡	辰藏田	集落跡	旧石器～近世	
12	藏田城	辰藏田	中世山城	中世	堀等が残る
13	上崎遺跡	辰上崎	集落跡	旧石器～近世	
14	殿上遺跡	辰殿上	石棺群	古墳	
15	駄小屋遺跡	辰駄小屋	石棺群	古墳	
16	藤の木下水流遺跡	西下水流	散布地	縄文～中世	
17	藤の木小原遺跡	西藤の木小原	散布地	縄文～中世	
18	板ヶ平遺跡	戌板ヶ平	散布地	縄文～中世	
19	樫原遺跡	亥樫原	散布地	縄文～中世	
20	うそ越遺跡	子うそ越	散布地	縄文～中世	
21	川水流遺跡	卯川水流	散布地	縄文～中世	
22	東原遺跡	卯東原	散布地	旧石器～近世	
23	南久保山小堀町遺跡	子小堀町	集落跡	旧石器～近世	
24	十朗ヶ尾遺跡	子十朗ヶ尾	散布地	縄文～中世	
25	猪渡遺跡	子猪渡	散布地	縄文～中世	
26	北方村古墳	子後曾木	石棺	古墳	県指定 2 号墳
27	曾木原遺跡	子曾木原	散布地	旧石器～近世	
28	中野遺跡	子中野	散布地	縄文～中世	
29	黒仁田遺跡	子仁田尾	散布地	縄文～中世	
30	古城遺跡	子下曾木	散布地	縄文～中世	中世山城
31	老丁鐘古墳	子老丁鐘	石棺群	古墳	県指定 1 号墳
32	權現原遺跡	丑權現原	散布地	縄文～中世	
33	足鍋遺跡	丑足鍋	散布地	縄文～中世	
34	松尾原遺跡	寅松尾原	散布地	縄文～中世	
35	岩土原遺跡	寅岩土原	散布地	旧石器～近世	
36	笠下原遺跡	寅笠下原	散布地	旧石器～近世	
37	笠下黑原遺跡	寅笠下黑原	散布地	旧石器～近世	
38	中山遺跡	寅中山	散布地	縄文～中世	消滅
39	笠下遺跡	寅笠下	集落跡	旧石器～近世	消滅

II. 調査の内容

1. 調査の概要

本遺跡は、標高約155m～160m程の狭小な尾根上に位置する。発掘調査は、工事により影響を受ける範囲を対象に実施した。試掘調査でも、アカホヤ層の一部や縄文時代早期の集石遺構に由来すると思われる焼穢が散在していたために、対象となる調査区を開む形で土層確認のトレンチを入れ、表土を除去した後、全体を少しづつ掘り下げる形をとった。

調査の結果、層位は安定しておらず、地山と表土の間に包含層は1枚で、旧石器時代と縄文時代早期の遺物が混在して出土した。また、溝を1基検出した。調査区の南側にはコンクリート製の用水路があり、調査期間中いつも水が流れている。北側には、この用水路が作られる以前に使用されていた用水路跡が残っている。今回検出した溝の底部には、砂や砂利の堆積が認められる。

試掘時に検出された土坑は、掘り下げた結果、底部が浅く不定形であったため、木根等による搅乱と考えられる。

2. 基本層序

基本層序は以下の通りである。

I層…表土層（約20cm）

II層…暗茶褐色土層（約20cm）

アカホヤのブロックを含む。

遺物包含層。やや粘質。

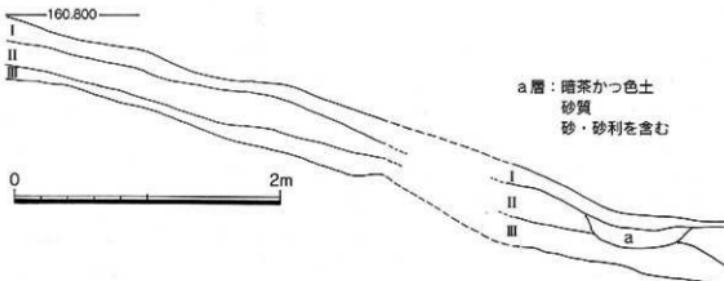
III層…明黄褐色土。地山。

四十万層群。

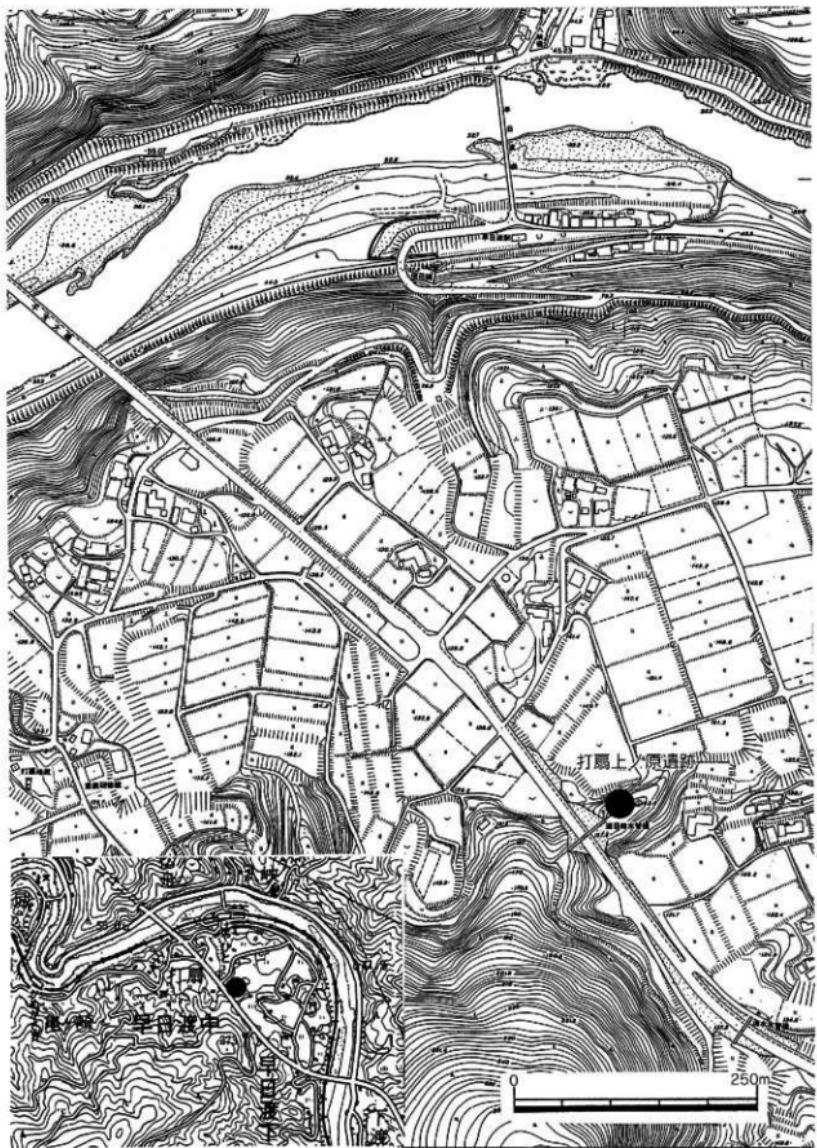
無遺物層。



2. 土層断面（南壁）



3. 土層断面（南壁）S=1/20



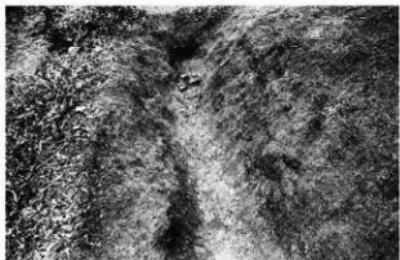
4. 打扇上ノ原遺跡位置図 (1/5,000)

3. 遺構・遺物

検出した遺構は、近世の溝1基である。調査区と平行、ほぼ等高線に沿って地山を削って作られている。南西の端から、北東の端へ向かって緩やかに傾斜している。断面形は、外側に開くU字形を呈し、深さはII層上面から20～30cmを計る。埋土は砂質で、底面には面の取れた小砂利が混じる。焼礫以外の出土遺物は無い。

遺物のほとんどはII層中より出土しているが、量的には多くない。1はチャート製の石鏃で、凹基式で先端部が欠損している。2は流紋岩の剥片で、打面を有する。3は水晶製の剥片で、不純物が混じり質はよくない。4は流紋岩製のスクレイパーである。自然面を有する厚手の薄片を利用し、鋸歯状の荒い加工を行っている。5は砂岩製の敲石である。両端部に打痕が見られる。3分の1程、折損している。

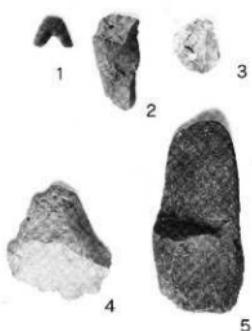
多量の焼礫が出土しているが、後背部に集石遺構を含む良好な包含層があり、それらの廃棄礫の可能性が高い。今後、周辺部の開発には、十分な注意が必要である。



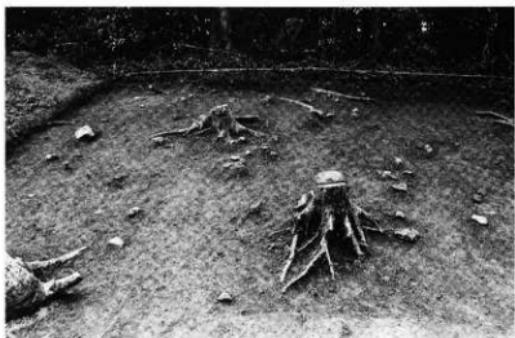
5. 溝検出状況（南西より）



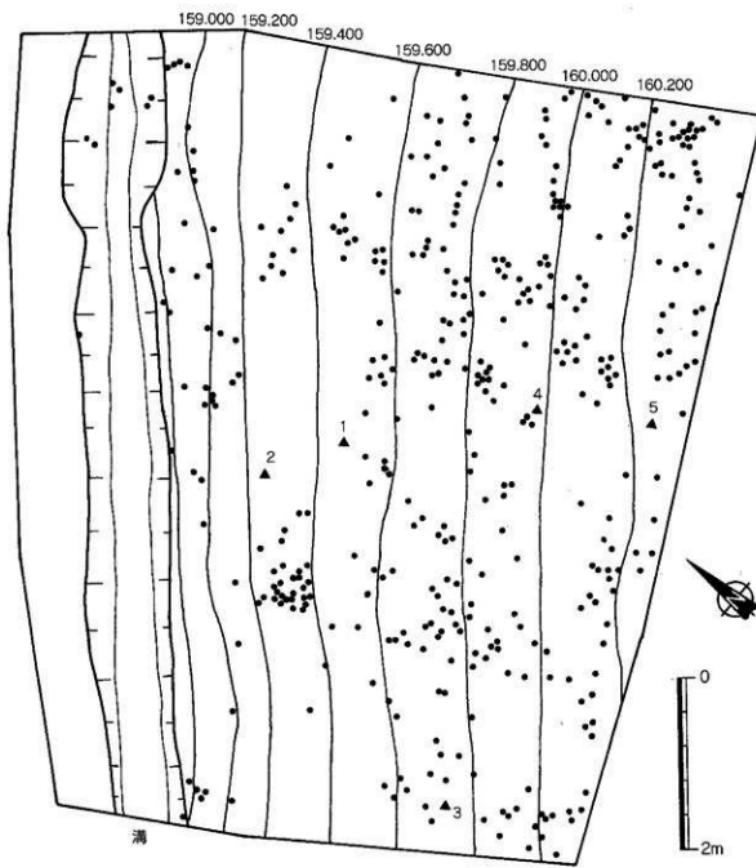
6. 溝の断面（北東より）



7. 出土遺物



8. 遺物出土状況（西より）



9. 遺構及び遺物分布図 (1/50)

遺物番号	器種	最大厚(cm)	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	石材	備考
1	石織	0.3	1.1	1.5	0.55	チャート	先端部欠損
2	剥片	0.7	3.8	1.7	3.2	流紋岩	
3	剥片	1.1	2.1	1.8	3.65	水晶	
4	スクレイパー	2.6	7.8	6.1	121	流紋岩	
5	鐵石	2.7	12.8	6	339.5	砂岩	敲打痕あり

10. 遺物観察表

III. おわりに

今回の調査で、検出された遺構は、近世以降に開削された用水路遺構1基である。遺物は、旧石器時代のスクレーパー・剥片、縄文時代の石鏃・敲石等が出土している。

遺物包含層は1層で、旧石器時代と縄文時代の遺物が混在するなど、土層の堆積状況は決して良好ではなかった。しかし、埋土中にはかなりの量の焼石が混じり、これまでの調査状況から、周辺には良好な包含層や集石遺構等の存在が予想される。今後の開発行為に対しても、十分な注意が必要である。

当遺跡が所在する打扇・早日渡地区は、畑作等によりある程度の「村」を形成していたことが、これまでの発掘調査で明らかになってきている。しかし、水の便が悪く、長い間水田耕作に適した土地ではなかった。このことを解消するため、江戸時代の後期に、9年間かけて用水路が開削された。その結果、20余町歩の田地が増加し、地区の財政基盤の強化に多大な貢献を果たすことになった。

今回、その用水路跡の一部を発掘調査によって検出し、記録保存することによって先人の苦労の一端を後世に残す一助となった。この調査による考古学的な成果はもちろんですが、各種開発事業の実施と文化財保護の調整を通じて、発掘調査や埋蔵文化財への理解が少しでも深まればと思っています。

一般的には、まだまだ認知されにくい発掘調査作業ですが、本書を通して、非常に地道で根気のいる大切な作業の一端をご理解いただければ幸いです。

参考文献

- 1995年 宮崎県教育委員会『打扇遺跡・早日渡遺跡・矢野原遺跡・麻田遺跡
…一般国道218号線椎畠バイパス建設に伴う埋蔵文化財報告書…』
2003年 北方町教育委員会『速日峰地区遺跡』



↑打局上ノ原遺跡周辺
航空写真



←遺跡遠景 (西より)



遺跡近景



作業状況

報告書抄録

フリガナ	ウツギカミノハルイセキ						
書名	打扇上ノ原遺跡						
副書名	電波基地局建設に伴う埋蔵文化財調査報告書						
卷 次							
シリーズ名	北方町文化財報告書						
シリーズ番号	第24集						
編集者名	小野信彦						
編集機関	北方町教育委員会						
所在地	宮崎県東臼杵郡北方町卯682番地						
発行年月日	平成17年1月31日						
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード 市町村	北 緯	東 經	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
打扇上ノ原 遺跡	東臼杵郡 北方町已 打扇	45426			2004.6.1～ 2005.3.31	45	電波基地局 建設
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
打扇上ノ原 遺跡	包藏地	旧石器時代 縄文時代早期 近世	溝1		スクレイバー 石器・剥片・焼砾	近世期以降の水路遺 構が、良好な状態で 残る。	

打扇上ノ原遺跡

北方町文化財報告書

第 24 集

平成 17 年 1 月 31 日

発行 北方町教育委員会

〒882-0192

宮崎県東臼杵郡北方町卯 682

印刷 クラフト印刷

〒882-0108

宮崎県東臼杵郡北方町子 4146